

第1回 渋谷区スポーツ推進計画策定委員会 議事要旨

【日 時】

2017年（平成29年）6月19日（月）18時30分～20時30分

【会 場】

ひがし健康プラザ 談話室

【出席者】

1 委 員 16名

（資料1 渋谷区スポーツ推進計画策定委員名簿のとおり）

2 事務局 スポーツ振興課

【会議次第】

- 1 策定委員会の設置趣旨
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介
- 4 委員長選出
- 5 諮問
- 6 教育長あいさつ
- 7 渋谷区スポーツ推進計画策定委員会開会
 - (1) 委員長あいさつ
 - (2) 副委員長の指名及びあいさつ
 - (3) 事務局紹介
 - (4) 議題
 - ① スポーツ推進計画策定の趣旨について
 - ② 渋谷区スポーツに関する意識調査の報告について
 - ③ 今後の進め方について

【配布資料】

- 資料1 渋谷区スポーツ推進計画策定委員・庁内委員名簿
- 資料2 渋谷区スポーツ推進計画策定委員会条例
- 資料3 渋谷区スポーツ推進計画策定委員会条例施行規則
- 資料4 渋谷区スポーツ推進計画庁内委員会要綱
- 資料5 諮問書(写)
- 資料6 渋谷区スポーツ推進計画策定の趣旨について
- 資料7 渋谷区スポーツ推進計画策定スケジュール
- 資料8 渋谷区スポーツ推進計画の体系(案)
- 資料9 渋谷区スポーツ推進計画策定のための事業調査(案)
- 参考1 渋谷区長期基本計画 2017-2026
- 参考2 渋谷区スポーツに関する意識調査 報告書

議 題

①スポーツ推進計画策定の趣旨について

委員長 それでは議題に入ります。議題のスポーツ推進計画策定の趣旨について事務局に説明をお願いします。

事務局 資料6に渋谷区スポーツ推進計画の趣旨をまとめてあります。計画の期間は平成30年度から34年度までの5年間です。計画策定の方向性については「思わず身体を動かしたくなる街へ。」に向けて「生涯にわたる多様なスポーツの総合的推進」、「見るスポーツを楽しむ環境の整備」、「スポーツを通じた地域コミュニティの活性化の推進」という3本の柱があります。また、昨年度、区民のスポーツに関する意識調査を実施しました。その結果を踏まえて、具体的な施策計画をつくるという進め方をしてまいります。

(資料6の説明)

②渋谷区スポーツに関する意識調査について

委員長 それでは渋谷区スポーツに関する意識調査の報告についてお願いします。

事務局 意識調査につきましては平成28年10月に渋谷区民を対象としまして行いました。この意識調査は渋谷区民の運動に関する活動実態・意識について把握し、区民がスポーツを通じて楽しく生き生きと健康的な生活を送れるようスポーツ施策を推進する目的で行われました。ここでスポーツの定義はかなり広くとらえています。競技スポーツだけでなく身近なウォーキング、体操、ストレッチなどもスポーツに含めて調査を行いました。

(参考資料2 渋谷区スポーツに関する意識調査 報告書の概要を説明)

委員長 説明ありがとうございました。何かご質問はございますでしょうか。しっかりした世論調査をエビデンスとして、計画を出してほしいと思います。次に今後の進め方についてもお願いします。

③今後の進め方について

事務局 (資料7・8・9にて今後のスケジュールを説明)

委員長 ありがとうございます。質問等がありますでしょうか。資料8にある理念・目標・施策の柱・施策の方向性というのは長期基本計画の中に書かれているということです。それをさらに実現するためのスポーツ分野の具体的な計画をつくっていくのが私たちの使命でありまして、もうこれは決まっているからよいのではないか、この会議は形式的なのではないかということではなくお考えください。区長からもこれをベースにいろいろなアイデアをぜひ出していただきたいと聞いております。私の理解としてこれはミニマムであります。これを超える施策の柱であったり、施策の方向性であったり、さらに具体的な事業などをどんどん私たちのアイデアで盛り付けをできると考えて頂ければと思います。

また、渋谷区の特性を考えて在勤・在住・渋谷区に遊びに来た人達も含めて55万人の人たちの渋谷らしいスポーツプランをつくりたいと聞いてございます。

委員 この委員会は方向性を示し、そして事務局が具体的な施策に落とし込んでいくのではないかと思います。予算的な裏付けは確実に実施されていくのかどうかというところをぜひ教えて頂きたいと思います。言うのは自由だけでもお金がなくて結局できませんでした

と言うのでは、委員長がご心配されているようにまさに形骸化してしまうところでございます。さらには調査を行っておりましたが、それに対してだいたいこのような調査の回収率は 30%程度位だとおっしゃいました。はたして 30%が本当によいのかどうか、やや疑問に思うところでもあります。さらに、渋谷区民は 70%以上がスポーツをしたいというようにおっしゃっていましたが、本当にそうなのでしょう。その辺りを含めて、お答え頂ける範囲で結構ですので事務局の方から教えて頂きたいと思っております。

事務局 3点ほどご質問があったと思っております。一つは予算の裏付けでございます。本計画の策定にあたって庁内委員会を立ち上げております。各関連部署でも計画の策定の流れを共有してまいりますので、こういった流れの中でそれぞれ予算要望をしていくものかなと考えております。確かに委員がおっしゃる通り、絵に描いた餅ではあっては実行性が伴いませんので、その辺はしっかりと裏付けを持てるように進めてまいりたいと考えています。30%で満足しているということではございません。調査の実施に当たりましてはアンケートを送って終わりではなく、もう一度督促をお願いした結果としてこの回収率になったということです。事務局としても回収率を高める努力をしましたが、このような結果となりました。サンプル数につきましては、WEB 調査という新しい視点で調査を行って、なるべく多くの方の回答を頂くという工夫をしたところでございます。本当に 70%以上の希望・意識なのかというところについては、結果としてこの数字であったとしかわかりません。

委員長 ありがとうございます。委員いかがですか？

70%に関してですが、東京都で今スポーツ推進計画を作成してしまっていて、その目標が 70%となっています。国は 65%ですけれども東京都はさらに高い目標を掲げています。世界でもっともスポーツ実施率が高いと言われている北欧 80%、あるいは都市によっては 80%を超えるようなところもありますので、まったく実現不可能な数字ではございません。ただそれだけニーズがあるというのは、このデータを学術的、統計的に証明することは難しいと私も思っております。他にいかがでしょうか。

委員 地区体育会についてですが、地区体育会はどういった競技をされていますか。認知度が厳しい状況のようではございますけれども、告知等はどのようにされているのでしょうか。

委員 渋谷区は 11 地区あります。私は恵比寿に住んでいますので、恵比寿のことをお話しします。地区体育会は基本的には町会単位でございます。皆さんも地元に戻れば町会があると思えます。恵比寿では基本的に年間 4 つのイベントがございます。運動会、ウォーキング大会、ソフトボール大会、バードゴルフ大会を行っております。また他にもいろいろと行っております。基本的には町会員が参加して頂けるということでございます。運動会は人数が一杯来ても楽しめます。ソフトボール大会等の競技だと人数が限られてしましますが、一日で行うイベントですので、対応が手薄になることもあります。町会員の人数がどんどん減ってきて、どの地区体育会も運営が大変だと聞いています。恵比寿はマンションができていますが、そのマンションが町会員になるのは難しい状況です。地元の人が今では 4 割、外から入ってきている人が 6 割というのが実態です。

委員長 主にどのようなスポーツをやっているのでしょうか？

委員 スポーツというよりは運動会です。恵比寿は 16 町会あります。16 町会を全員集め

て行っています。1町会につき約50名以上いますから800名位が参加しています。種目の中に町会対抗戦の種目もございます。基本的には1番～16番まで順位がつきます。16番になった町会は来年また頑張ろうという感じでやっています。ソフトボール大会等はあたる程度若いスポーツをやっている方、野球経験者が来てやっています。ウォーキングは小学生から70歳位の方までが一緒になり、約10km回るコースと5kmコースに分かれて楽しんでやっております。渋谷区も緑がなくなってきていまして、他の区に行くことも多くなっています。目黒方面に行ったり、緑を求めて歩きながら楽しんでおります。

委員 運動会は、今なされているのですが、運動を継続するにあたって目標があると良いと思いました。この運動会を目標に日々の運動を頑張ろうとか、そういうふうなものになるとよいと思ったところです。運動会の中で例えば100m走はありますか。

委員 基本的には競技は子供から始まります。80m走、100m走などから始め、最後がメドレーリレーです。小学生から大人に回って7人位が走って終わりとしています。

委員 ちなみに優勝したらメダルをもらえるとかはあるのですか。

委員 基本的に一位となりますと、洗剤やカレーセット等がもらえます。地区によっていろいろな物を商品に出しています。渋谷区から商品代を頂いておりますので、それを区民・町会の皆様にお配りするのが基本になっていると思います。

委員 競技を基本としてやる運動会ではなく、いわゆるレクリエーションとして区民が楽しんで行うというのが各地区の運動会です。記録を取るということ等には趣を置いていません。楽しもうということでやっているのが運動会です。

委員 私は別の立場からお話させていただこうと思っています。私は学校医もやっております。それから産業医もやっております。健康スポーツ医もやっております。例えば特に東京体育館を見ていると、土日は満員でとても混雑しています。その間を縫って検査しに行くわけですが、運動習慣がついている方は自分に波というカールがありますので、運動をやらないと逆に気持ち悪いと思うようです。他人が言わなくても運動します。一方、先ほどスライドにあったように、今まで参加していなかった方に今後参加したいと思いませんかという質問に対する区民の回答を見ると、「参加したい」が2.7%となっています。「参加したくない」が34.03%となっています。「条件が合えば参加したい」がポイントだと思っています。小さいお子さんを学校教育の中でどのようにしていくのか。私は0歳児から実は100歳まで見ていますが、保育園から始まって、小学校、中学校、さらにはより高い教育を含めてどのように施策をやっていくかという問題があります。

それから産業医の立場で言うと、渋谷区ではIT産業がとても多いのですが、ご存じのように一方では働き方改革が言われているように、時間的に非常にタイトな生活を送っている方が多いと思います。そういう方々は上手くスポーツ習慣をつくっていただけるのだろうかと思います。先ほど説明があったように「時間がない」という状況があります。このような回答をする方がとても多いのです。産業医としてスポーツ、あるいは体を動かす何かをと考えても、そういったところで限界も多いのです。今、高齢者が増えていますが、その予備軍である40～50代の方々が退職を迎える時期はほぼ5年～10年後ごろになります。その方々が何もしないまま退職し、高齢者になることも考えないとよい計画になりません。

そのあたりを考えて「条件が合えば参加したい」という 60%の方々をいかに引き込んで、上手く問題解決していくことは、実は介護予防にもつながります。非常に大きな問題だと思っています。そういった方々も見て頂けるとありがたいと思います。

委員長 ありがとうございます。衛生分野では行動変容ステージモデルというモデルがあります。一般的にスポーツをやるようになる場合には無関心な人・関心がある人・準備を始めた人・始めた人・継続している人の五段階があります。ステージ別ターゲットによって政策が全然変わってくるので、年齢や性別だけではなくて関心があるけどできない人への切り口をもっと考えた方がよいという助言でした。他にいかがでしょうか。

委員 資料8と、これからのスケジュールを見て疑問に思ったのですが、資料8を見ると三つの大きな柱があって、その下に紐づいている柱が13項目あります。おそらくこの13項目を議論していくのだろうと思いつつ、スケジュールを見るとディスカッションする場がなく、次回一回のみとなっています。結構大変ではないかなと思っており、実際どのように進めていくのかと思っています。議論が一回だけでは13項目をカバーするのは無理ではないか。その場合、ある項目に特化して議論することになっていくのか、あるいは委員に宿題が出されていくのか、その辺りが疑問なので、方向性があるのであれば教えて頂きたいと思っています。

委員長 私は宿題をやって頂けるのならお願いしたい。それほど大それたことではなく、この柱の中でこのようなことをやったらよいか、あるいは皆さんは海外のことをいろいろご存じなので、こういう国、こういう都市ではこのようなことをやっているが、渋谷区ではこういうことをしたらよいのではないかとといったこと等を出して頂くような宿題が良いのではないかと思います。実現性を担保できること、あるいは、予算化できることだけを言うのであれば、この通りやればよいだけのことになってしまうので、そうではない新しい何かを私たち外部委員として出したいと思っています。事務局それでよろしいでしょうか。

事務局 委員長がおっしゃるように進めて頂ければと思います。一つ一つ細かくというよりは全体を見て頂き、こちらからの現場の様々な情報提供をさせていただく中で、その中でお気づきの点、ご提案を言っていただくとよいと考えております。資料につきましては事前にご送付させて頂き、それを見て頂いて意見をそこで述べてもらうような形で進めていきたいと思っています。

委員長 メール時代ですから事前に何か色々なアイデアを寄せて頂いて、当日までに事務局の方に整理して頂いて、ディスカッションする手順にしたいと思います。当日、みんなで意見を出し合っても間に合わないので、たとえば7月末にいったん締め切って頂いて、それぞれアイデアをどんどん出して頂く。そのようなやり方はいかがでしょうか。フォーマットも作らずに自由書式で自由に箇条書きでも結構ですのでどんどん寄せて頂くという方法もあると思います。

事務局 その辺はまたメールでお知らせをさせて頂きたいと思っています。

委員長 事務局から何かフォームを頂いて、私たちはそれに書いてもよいですし、A4一枚に自由に書いてもよいと思います。意見を書くときに財源の問題等はあまり意識しないでよいと思います。委員が言っているように絵に描いてある餅になる懸念はありますが、私たちは

できることばかりではなく、できなそうなことも含めてご意見を寄せて頂ければと思います。

委員 確かに区の教育委員会の予算だけを考えるとアイデアは狭くなります。たとえば外部とのスポンサーとか、外部の資金を使ってのイベントといったやり方も含めて出していった方がよりダイナミックな意見が出てくるのではないかと思います。

さっきの恵比寿地区の話をお聞かせすると、運動会等をしっかりとやっているの中で、その中で一歩踏み込んだことを考えることが大切です。

今日お話を聞いていて、身近なところに施設があるということが重要だと実感しました。これまでは学校体育が中心でした。学校の体育館やお金を払ったスポーツクラブは日常とスポーツが分離している形態です。これはスポーツから若者や子どもが離れていった大きな理由の一つだと思います。いかに、生活の中、勤務する中、通学通勤する中で運動・スポーツの機会がつかれるかということが大きなポイントになってくると思われれます。たとえば、そういう意味では今回のオリンピックの新しい種目に加わった三人制のバスケットボール「3×3」はよいスタイルだと思います。私は昨日、プロリーグを見に行ってきたのですが、ショッピングセンターの広場で試合をやっていました。それを常時3千人位の人が見ていました。通り過ぎていく人も見ているので、合計すると2万人の人が見ているのです。このようなことを駐車場や街中に空間をつくってやれば、プレイしている人を見て子どもがやろうと思うかもしれません。そう意味ではオリンピックで「3×3」の競技会場をどこにするか検討している最中なので、渋谷区が手を挙げて、オリンピックのメイン会場に名乗りを上げてよいのではないかと思います。

もう一つは、日本の文化をスポーツと結び付けて世界に発信するのは何がよいかと考えたら、相撲が浮かんできます。渋谷区には明治神宮があります。その明治神宮は横綱の免許を出すところなのです。つまり相撲の聖地は渋谷区にあるのです。相撲は日本全国各地に残っていますが、何百年かの歴史の中でお殿様が代わったり、あるいは台風で全滅した後に復興するために奉納から始まった等それぞれの歴史があります。隠岐島では町民を挙げての文化として語り継いでいるのです。残念ながら各地の相撲の文化はその土地だけのものです。東京の人はどこでそのような相撲が行われているかを全然知りません。そうだとしたら2020年のオリンピックを契機に渋谷で相撲のムーブメントをつくることを考えてもよいと思います。今ヨーロッパでは相撲がものすごい勢いで広がっています。相撲はルールが分かりやすい、短時間で勝負が決まる、見ていて面白い、お金がかからない、場所はいらぬという、きわめて広がりやすいという娯楽要素を持っているというのがヨーロッパの人たちの認識です。また、ハンガリーでいま急激に広がっている相撲は生涯スポーツとしての相撲です。四股を踏むことが年をとった時の足腰にとてもよいということです。取材に行ったときには相撲道場に子供からお年寄りまで来ていました。子どもは子ども同士で相撲を取れるし、お年寄りだったらお年寄り同士で相撲が取れる。そういう広がりはずごく面白いと思います。そう考えた時に有名な選手を渋谷区に7~8人集めて、渋谷区の子供も参加できる一大的な行事をつくり、それが定着していけば、渋谷区の人たちもそれに向けて1年間楽しみにできるお祭りになります。そこに世界から何人かを呼

んで、世界に向けて発信する。相撲は全国で何百年に渡って行われていますが、渋谷区では2020年から始めて、その後何百年も引き継いでいけるものをつくれたらよいと考えます。これは一つの考え方ですが、世界と渋谷区と子ども達をつなぐ何かをつくり、それを軸にしてやっていくのがよいというのが私の意見です。

委員長 委員の皆様思い切ったアイデアを寄せて頂きたいと思います。渋谷区には多くの民間企業がありまして、行政だけで完結して、行政の予算だけで全部をやろうとせず、民間を巻き込んで一緒にやっていくというような、面白い事業をして頂けたらと思います。予定の時刻が近づいておりますが何かございますでしょうか。

委員 まさに社会連携と言いますか、企業だけでなく、みんなの力を合わせていくことが大切だと思います。渋谷区ではそのようなリソースがあると思うので、渋谷らしいものを発信して頂けたらと思います。

委員長 ぜひ皆さんもアイデアを出して頂きたいと思います。

事務局 今日は長時間ありがとうございました。次回の開催日程は8月7日で、場所は渋谷区役所仮庁舎の第二庁舎の保健所講堂にて行います。時間は今回と同じ18時30分から20時30分で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

委員長 本日の議題はこれで終了です。お疲れ様でした。